

授業科目名	実世界指向インタフェース
科目番号	02RB222
単位数	2.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋 AB 水 5,6
担当教員	亀田 能成, 掛谷 英紀
授業概要	実世界指向インタフェースについて、特に視覚メディアを中心に構成論と先端技術動向に関する講義を行う。
備考	英語で授業。本プログラムの学生以外が受講する場合は担当教員の許可を得ること。01CK407 の単位取得者は履修不可。 西暦奇数年度開講。 01CF116 と同一。
授業形態	講義
授業形態の補足	
教育目標との関連	・「分野横断力」における「幅広い専門知識と経験」に関連する。
授業の到達目標	実世界指向インタフェースについて、特に視覚メディアを中心に構成論と先端技術動向に関する知識を身につける。
授業計画	授業計画の順は変更されることがある。 The order is subject to change. 1) 人間とコンピュータのインタラクション Interaction between human and computer 2) 対話型システムのデザイン Design of interactive system 3) 人とコンピュータとコミュニケーション Communication between human and computer 4) 入出力インタフェース Input / Output interface 5) ビジュアルインタフェース Visionary interface 6) 空間型インタフェース Spatial interface 7) CSCW CSCW 8) インタフェースの評価 Evaluation of interface
履修条件	
成績評価方法	所定の課題と試験によって行う。 評語の基準は次のとおりとする。A+: 秀 (90 点以上)、A: 優 (80-89 点)、B: 良 (70-79 点)、C: 可 (60-69 点)、D: 不可 (60 点未満) Both exam and reports are counted. A+: 90-, A: 80-89, B: 70-79, C: 60-69, D: under 60.
授業外における学習方法	
教科書	
参考書	
オフィスアワー	メール等で予約されたい。授業後 30 分程度。 30 min after the class. Or reserve the time by e-mail.

受講生に望むこと	
欠席の場合の措置	
関連科目	
TF・TA	
キーワード	視覚メディア, ユーザインタフェース, 複合現実感, 拡張現実, 立体視, media, user, Interface, mixed, augmented, reality, 3d, Vision